

栗原玉葉、

夢二、

松園…

美人画の

世界



2018
12

12 水

2019
1

20 日

開館時間 10時-18時・12月27日(木)は展示替えのため16時閉室
いずれも最終入館は30分前まで 休館日 12月17日(月)

長崎歴史文化博物館
〒850-0007 長崎市立山1丁目1番1号 TEL 095-818-8366
主催 長崎歴史文化博物館 NIB長崎国際テレビ 企画協力 NAITシステム 特別協力 朝比奈文庫 後援 長崎県長崎市長崎県教育委員会長崎市教育委員会島原市教育委員会雲仙市教育委員会南島原市教育委員会長崎県観光連盟長崎国際観光コンベンション協会長崎県立長崎図書館長崎市立図書館長崎新聞社西日本新聞社朝日新聞社毎日新聞社読売新聞西部本社日本経済新聞社長崎支局 共同通信社長崎支局NHK長崎放送局長崎ケーブルメディア長崎商工会議所長崎県タクシー協会長崎歴史文化協会学校法人瑞浦学園表千家同門会長崎県支部茶道裏千家淡文会長崎支部長崎いけばな連盟



Neo Japan Beauty

新章

Neo Japan Beauty



Neo Japan Beauty ビュートイ

様々な姿の女性を描くことは、日本美術における重要なテーマのひとつでした。古くは正倉院に伝わる《鳥毛立女屏風》から始まり、江戸時代には鈴木春信や鳥居清長などの浮世絵師たちが新時代の女性像を創出していきました。それらはいっしょに「美人画」と呼ばれるようになり、大正時代には、文部省が主導する展覧会のなかでも

「美人画室」という専用の展示室が設けられるほどになりました。本展は、そのような江戸時代末期から昭和初期にかけて

絶大な人気を博した「美人画」に注目する展覧会です。「ジャパン・ビュートイ」展自体は、5年前の東京会場を皮切りに数県を巡回している企画ですが、長崎会場では大正時代に活躍した長崎出身の女性画家、栗原玉葉（1883-1923）の作品も同時に展示いたします。

長崎ならではの初公開作品を多数含んだ、新たな「ジャパン・ビュートイ」展です。



右／鈴木清方（初夏の雨）昭和、中／竹久夢二（湘南風光）昭和、左／伊東深水（はたる）昭和 いずれも個人蔵

講演会 | 1階ホールにて

「失われゆく玉葉を求めて」

2018年12月16日(日) 14時～

講師：五味俊晶(当館研究員)

「美人画とは何だったのか」

2018年12月24日(月祝) 14時～

講師：古田亮氏(東京藝術大学大学院美術学専攻教授)

「栗原家の秘密」 講座室にて要事前申込み

2019年1月12日(土) 10時30分～

講師：五味俊晶(当館研究員)／受講料：500円

「近代美人画の誕生と移り変わり」

2019年1月12日(土) 15時～

講師：菊屋吉生氏(山口大学国際総合科学部教授)

シンポジウム | 1階ホールにて 要観覧券チケット

「栗原玉葉をめぐる物語」

2019年1月13日(日) 14時～

講師：菊屋吉生氏(山口大学国際総合科学部教授)

野地耕一郎氏(泉屋博物館館長)

塩谷純氏(東京文化財研究所)

伊藤たまき氏(高藤清美術館)

田所泰氏(東京文化財研究所)

五味俊晶(当館研究員)

関連イベント

きもの着付け体験 電話かFAX(095-818-8407)で要事前申込み・定員：各日20名程度

2018年12月15日(土)、16日(日) 10時～12時、13時～15時

参加費：3,000円(本展観覧料込み)

はぎれアクセサリ作り 電話かFAXで要事前申込み・小学生以上

2018年12月22日(土) 10時30分～12時30分 随時

参加費：500円(要観覧券)

ギャラリートーク 要観覧券 2018年12月15日(土)、2019年1月1日(火祝)、19日(土) 14時～15時

詳細はこちら→<http://www.nmhc.jp/>

呈茶 | 1階エントランスにて

2018年12月16日(日)、24日(月祝)、2019年1月6日(日) 13時～16時

参加費：500円(茶菓子代) 協力：鎮信流長崎支部

親子で「びじんが」ツアー 対象：小学生以上 ※大人の方は要観覧券

2018年12月23日(日)、2019年1月1日(火祝)、14日(月祝) 11時～12時



長崎がうんだ
天折の日本画家 栗原玉葉
その全貌を初公開



長崎歴史文化博物館
〒850-0007 長崎市立山1丁目1番1号
TEL 0955-818-8366

アクセス
○路面電車「桜町」下車 徒歩5分。
○路面電車「市民会館」下車 徒歩7分。
○路線バス「桜町公園前」下車 徒歩5分。
○県営バス「風頭町行」歴史文化博物館前下車(時間毎)
○長崎自動車道(長崎湾環状IC)より、諏訪神社方面へ10分。

お正月 着物フリーデー
1月1日・3日に着物を着る方は本展観覧料が無料!



左／栗原玉葉《古賀街道回廊》大正8年 当館蔵、中／栗原玉葉《お籠》大正4年 個人蔵、右／栗原玉葉《お夏の思い》大正11年 当館蔵

表面：上／上村松園《花がたみ(部分)》大正4年 松伯美術館蔵、右／栗原玉葉《朝妻桜(部分)》大正7年 個人蔵、左下／栗原玉葉《浪女図(右幅、部分)》大正10年 個人蔵